



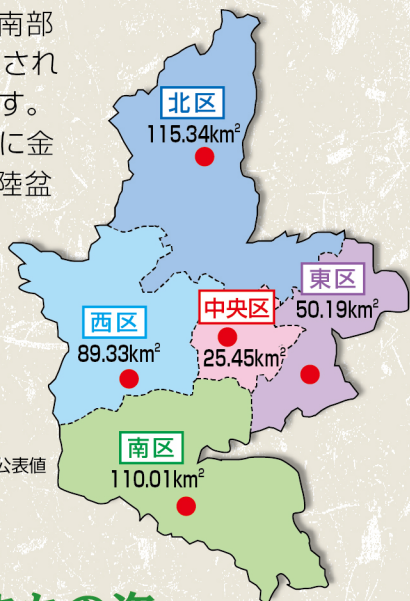
位置及び地勢

熊本市は、九州の中央、熊本県の西北部、東経130度42分・北緯32度48分に位置し、面積は390.32km²です。

地勢は、金峰山を主峰とする複式火山帯と、これに連なる立田山等の台地からなり、東部は阿蘇外輪山群によってできた丘陵地帯、南部は、白川の三角州で形成された低平野からなっています。

気候は、有明海との間に金峰山系が連なるため、内陸盆地的気候条件となり、寒暖の較差が大きく冬から春への移り変わりは早く、夏は比較的長いことが多いようです。

● 区役所の位置
面積：国土地理院公表値



めざすまちの姿

「上質な生活都市」

(熊本市第8次総合計画：令和6年度～令和13年度)

豊かな自然と歴史・文化に恵まれ、あたたかいふれあいに満ちた地域の中で、お互いに支え合いながら心豊かで幸せな暮らしが営まれ、災害に強くだれもが安心して暮らせるまち。

そして、市民一人ひとりが、自分たちが暮らすまちに誇りを持ち、夢や希望を抱いて、いきいきと多様な生活を楽んでいるまち。

そのような、市民が住み続けたい、だれもが住んでみたくなる、訪れたくなるまち、「上質な生活都市」を、私たちは目指します。

～Ⅱ 都市整備の方針～

1. 都市整備の方針における基本的視点

「持続可能な都市構造への転換」

2. 都市空間の構成方針

「多核連携型の都市空間」

3. 都市の形成方針

- ① 自然と都市空間が調和した均整の取れた都市の形成
- ② 高次都市機能などの維持・集積
- ③ 「10分・20分構想」等の新たな広域道路ネットワークの形成
- ④ 「森の都くまもと」の復活と定着



各区の人口です！

人口

明治22年、市制施行当時約4.3万人(明治22年12月31日現在)であった人口は、その後、数回にわたる市域の拡大や都市化の進展により増加し、平成3年2月1日、飽託郡4町と合併し約63万人となりました。

その後、平成20年10月6日には富合町と、平成22年3月23日に植木町、城南町と合併し、市域を拡大した新「熊本市」は平成24年4月1日、約74万人、全国で20番目、九州で3番目の政令指定都市へ移行しました。

	人 口			世 帯
	総 計	男 性	女 性	
中央区	187,144人	88,603人	98,541人	104,097世帯
東 区	190,059人	90,215人	99,844人	84,579世帯
西 区	90,575人	42,545人	48,030人	41,932世帯
南 区	132,564人	62,567人	69,997人	53,787世帯
北 区	137,201人	65,126人	72,075人	58,828世帯
計	737,543人	349,056人	388,487人	343,223世帯

令和7年1月1日現在 (熊本市推計人口)